

令和4年度【前期】 児童アンケートの結果とまとめ

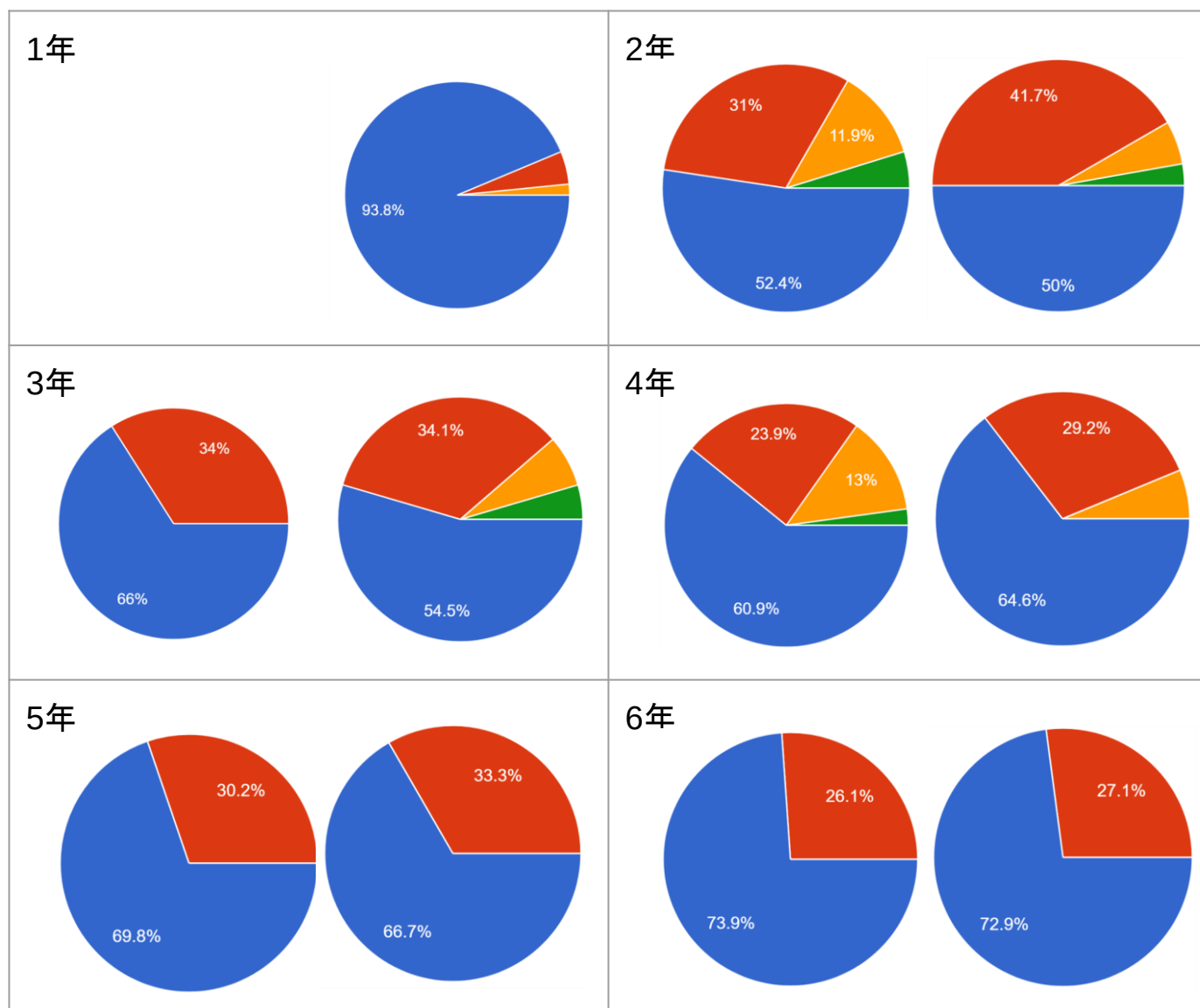
調査実施期間： 令和4年7月4日～21日

各設問ごとの回答

- ・各学年ごとに回答を集計しました。
- ・左側のグラフは昨年度後期（1年以外）の結果です。
- ・右側が今年度前期の結果です

1 学校は楽しいですか。

- 1.いつも たのしい
- 2.だいたい たのしい
- 3.あまり たのしくない
- 4.たのしくないことが おおい

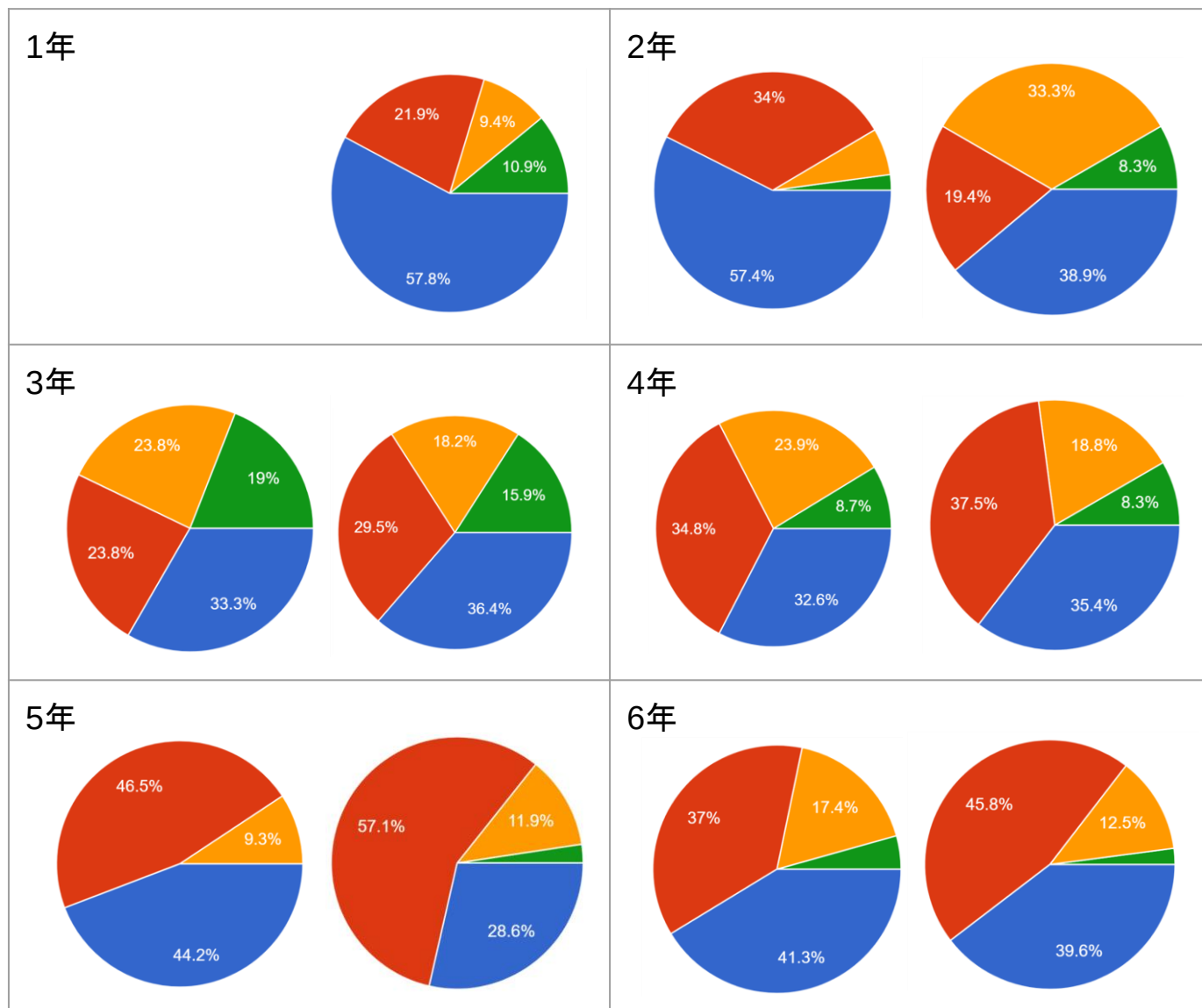


まとめ

- ・全学年とも肯定的な意見が80%を超え、ほとんどの児童が「学校は楽しい」と回答している。落ち着いた人間関係の中で生活していることがうかがえる。
- ・「あまり楽しくない」「楽しくない」といった回答の理由には、「勉強が苦手」とか「友達に嫌なことをされる」といった理由が挙げられていた。
- ・Q U やいじめアンケートと関連させながら、自己肯定感を高める授業づくりや学級集団づくりに取り組んでいきたい。

2 学校へ行きたくないと思ったことがありますか。

- 1.ない
- 2.ほとんどない
- 3.しゅうに1かいくらいある
- 4.よくある

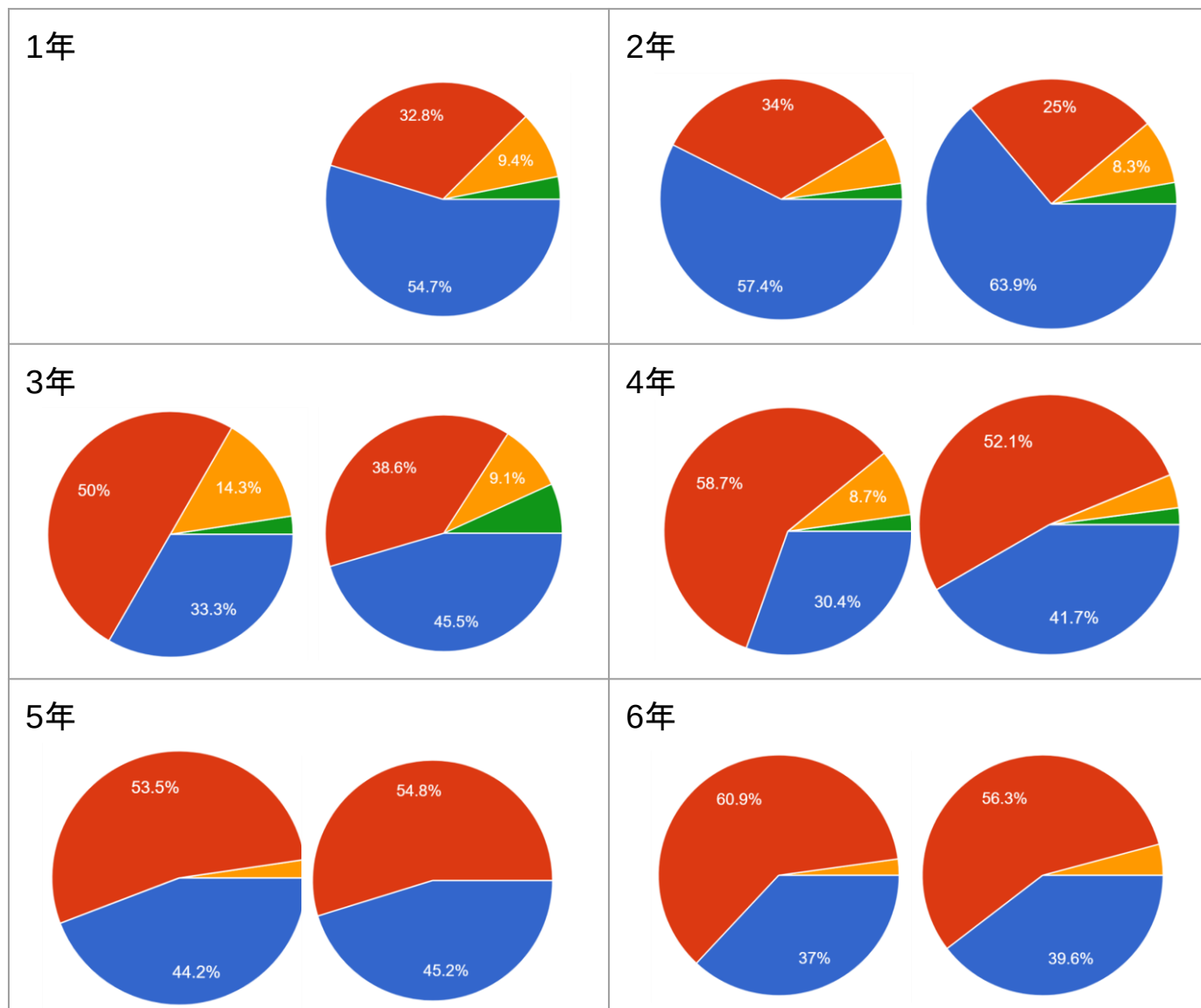


まとめ

- ・5・6年生は、学校に行きたくないと思う時が「ない」「ほとんどない」と肯定的な回答をしている児童の割合が80%を超えていた。
- ・「行きたくない」といった否定的な回答をした理由として「苦手な授業があるから」や「テストがあるから」「授業がつまらないから」といった学習に関わる理由が全学年でみられた。
また、低・中学年では、「ともだちとけんかをしたり、きまずくなったりしたから」「眠いから」といった理由が多く見られ、高学年になると「休み明けの月曜日等なんとなく」といった理由が多く見られた。
- ・学級内における人間関係づくりや、楽しくわかる授業の実践など、学校での努力で解決できる問題については教員も改善に努めていきたい。一方、学校に行きたくない理由として、「眠いから」とか「なんとなく」といった理由も挙げられていることから、家庭での生活習慣の乱れやゲーム・SNS等の依存も理由として考えられる。学校保健目標にもあるように、引き続き「早寝・早起き・朝ごはん」の取り組みやゲームやスマートフォンの使い方について、学年だよりや保健だより等で家庭へ協力を呼び掛け、保護者の協力を得られるようにしていくことが求められる。

3 学校の勉強が、分かりますか。

- 1.よくわかる
- 2.だいたいわかる
- 3.あまりわからない
- 4.わからない

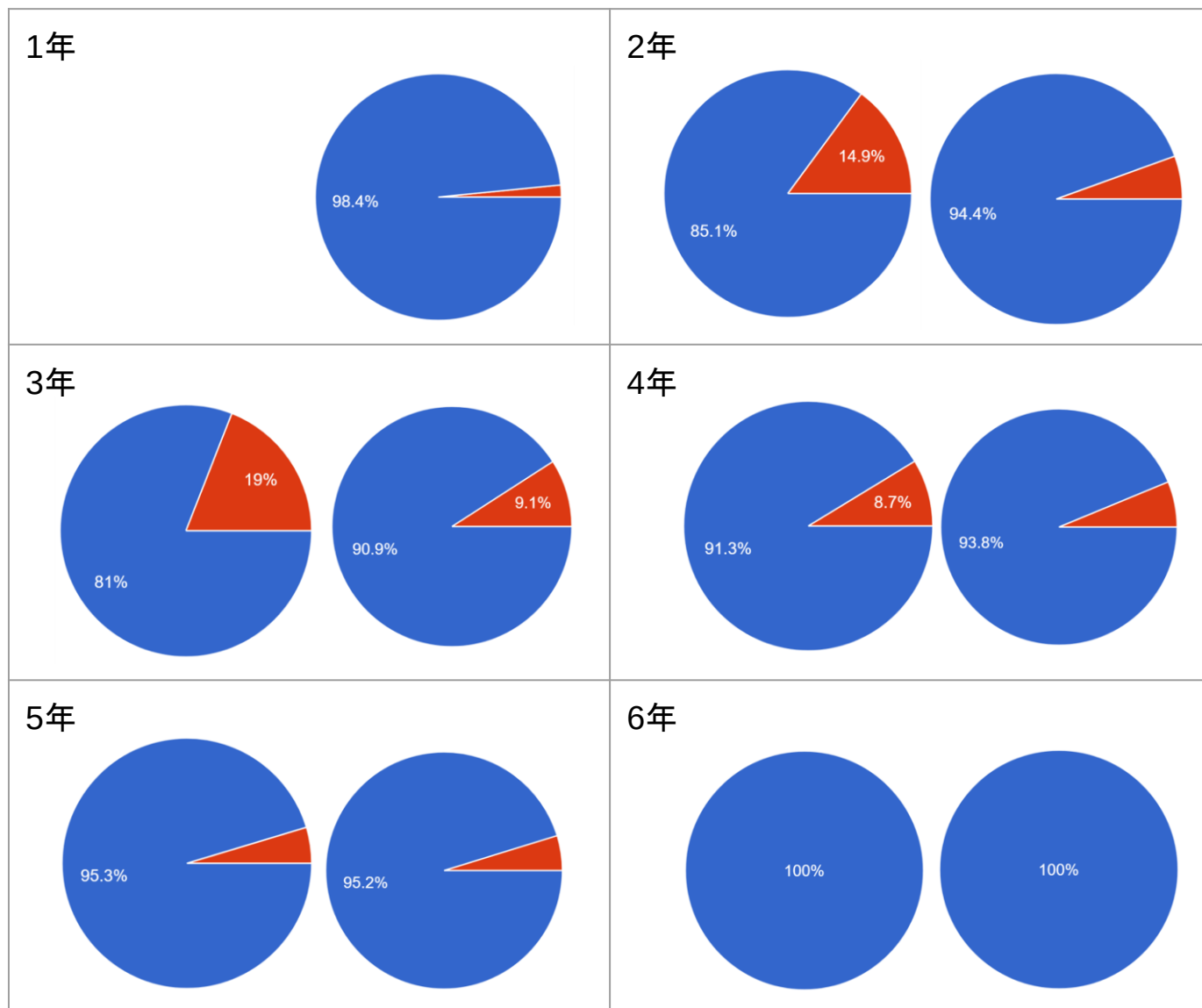


まとめ

- ・学校全体では、ほとんどの児童が、学校の勉強が「よくわかる」「だいたいわかる」と肯定的な回答をしている。
- ・低学年の学習の基礎の上に、高学年の学習が展開されていくので、低学年からの学力の定着が大切になる。そのためには、「わかる授業」「楽しい授業」「できたと実感できる授業」により、主体的に学ぶ意欲が高められるようにしていきたい。
- ・一人一台端末の有効活用や「山梨スタンダード」に則った学習指導を続けていく。
- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実と、一人一人の学習状況の定着状況を把握し、学力向上につなげていく。
- ・「見せ合い授業」「学年合同での授業や教材研究」等を積極的に展開し、OJTにより教師の授業力向上を図る。

4 困ったときに相談する人がいますか。

● 1.いる
● 2.いない

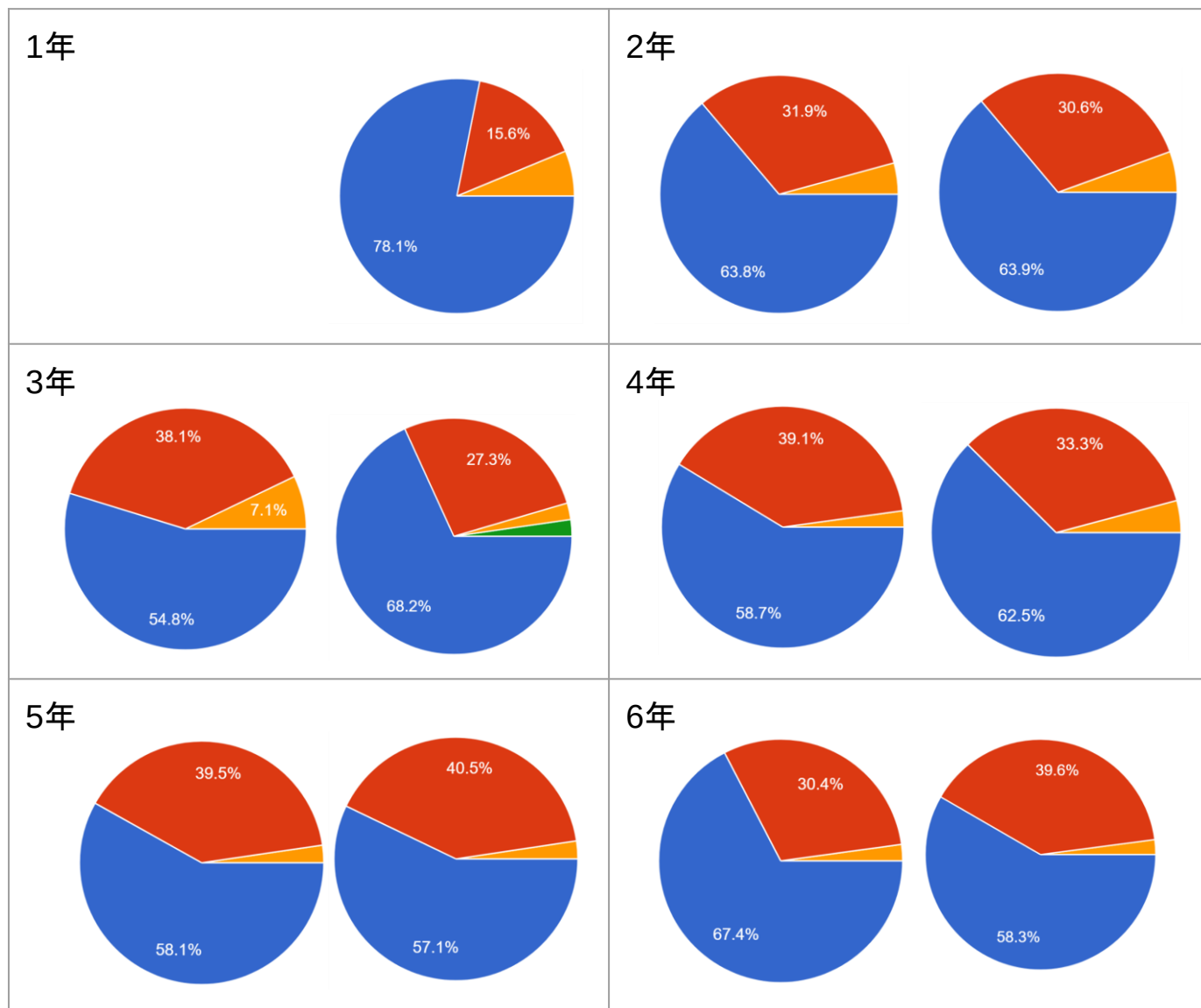


まとめ

- ・各学年とも、多くの児童が困ったときに相談する人が「いる」と回答している。
- ・相談する相手として、全学年とも「父母」「友達」「先生」を多くの児童が挙げていた。
- ・全学年とも「父母」に相談する児童の割合がとても高く、高学年になるにつれ「友達」に相談する児童の割合が増えている。
- ・また、「いない」と答えた児童に対し、普段の様子を注意深く観察したり校内においては教師や友達が相談相手になれるよう、働きかけたり学級づくりをしたりしていく。また、場合によっては養護教諭やスクールカウンセラー等、全校体制で見守っていくことも必要である。

5 しっかりそうじができましたか。

- 1.よくできた
- 2.できた
- 3.あまりできなかった
- 4.できなかった

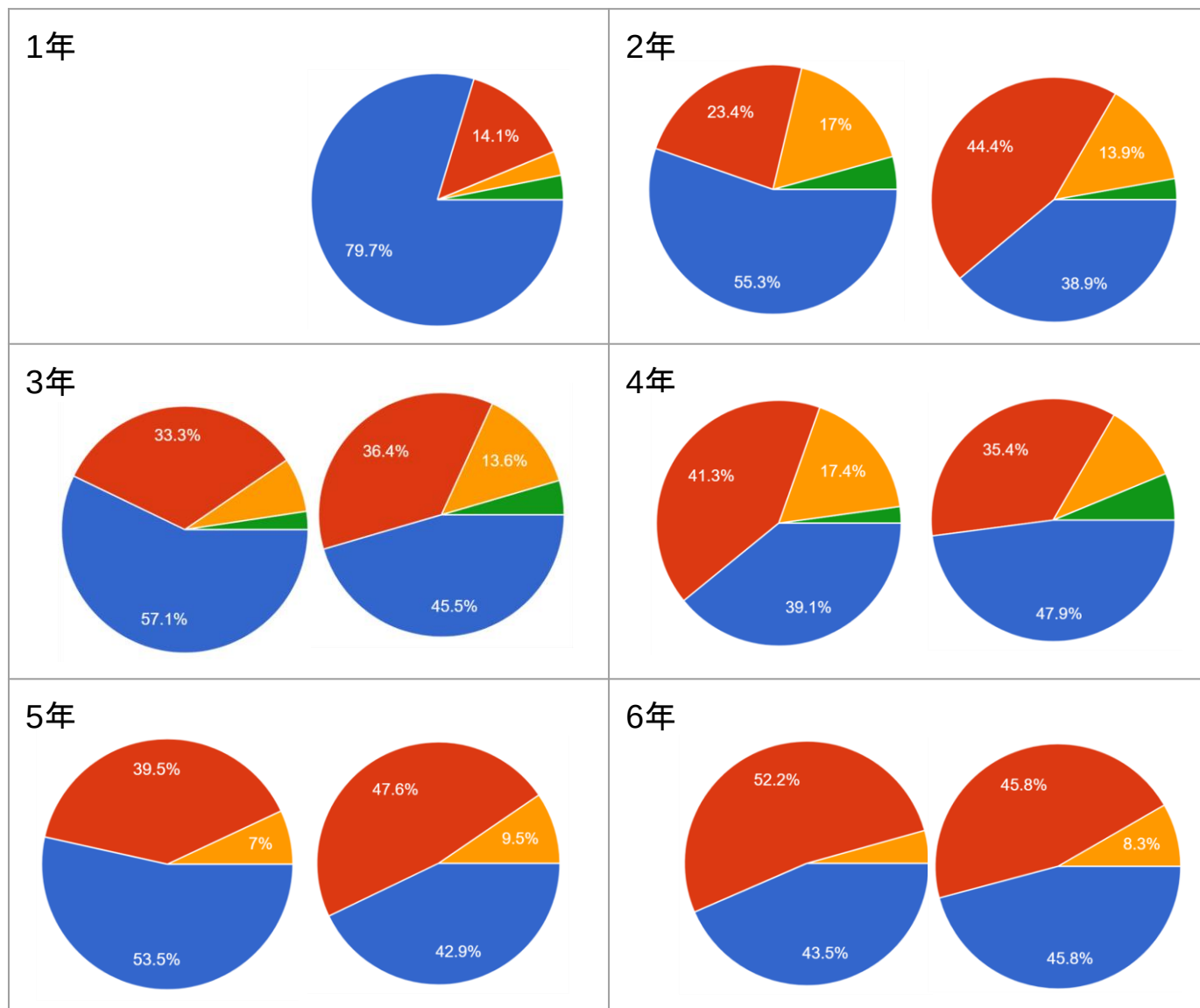


まとめ

- ・どの学年もそうじを「よくできた」や「できた」と肯定的に回答している児童の割合が高い。
- ・「あまりできなかった」「できなかった」と回答した児童が、各学年に10%ほどいる。
- ・時間内はむだ話することなく集中して清掃に取り組めるよう、全校体制で指導していく。今後も、子弟同行で行うと同時に、子どもたちに「きれいにする」ということ（「実際にきれいにした成果」や「清掃の意味」）はどういうことなのか、教師が自らの行動で示し子どもたちに伝えていきたい。

6 すすんであいさつができましたか。

- 1.よくできた
- 2.できた
- 3.あまりできなかった
- 4.できなかった

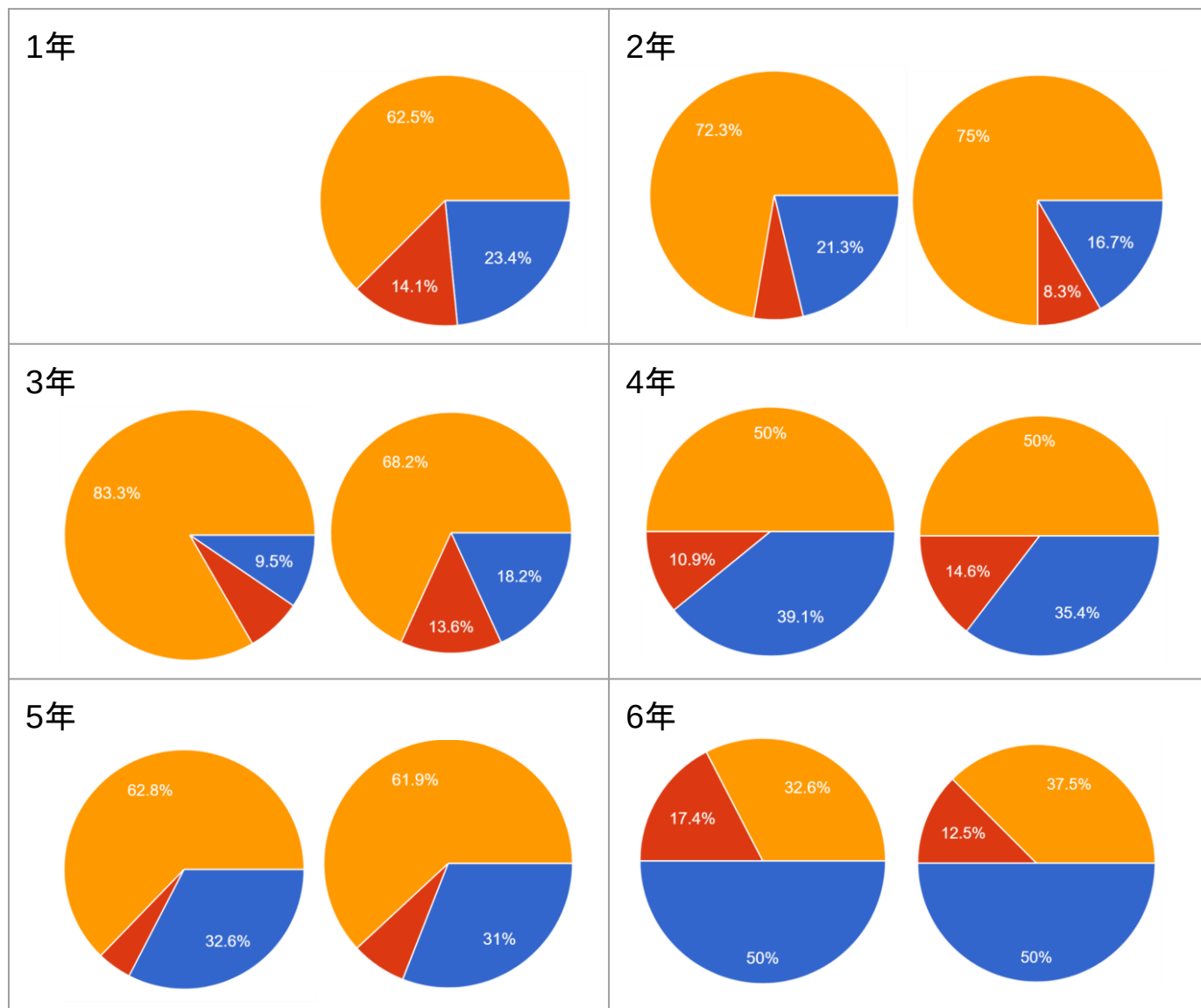


まとめ

- ・5・6年生は「よくできた」「できた」といった肯定的な回答をした児童の割合が90%を超えていた。2～4年では「あまりできなかった」「できなかった」と答えた児童の割合が多かった。
- ・登下校中や廊下ですれ違う人、来客にも自然なあいさつができるよう、日頃からの指導や実践を積み重ねていくことが大切である。校外学習の折に、あいさつや返事を自然に行っている姿が見られる学年もあることから、大人が手本となり、さわやかなあいさつができるよう指導を続けていきたい。

7 携帯電話（スマホ）を持っていますか。

- 1.じぶんのもっている
- 2.きょうだいで いっしょ のものをもっている
- 3.もっていない

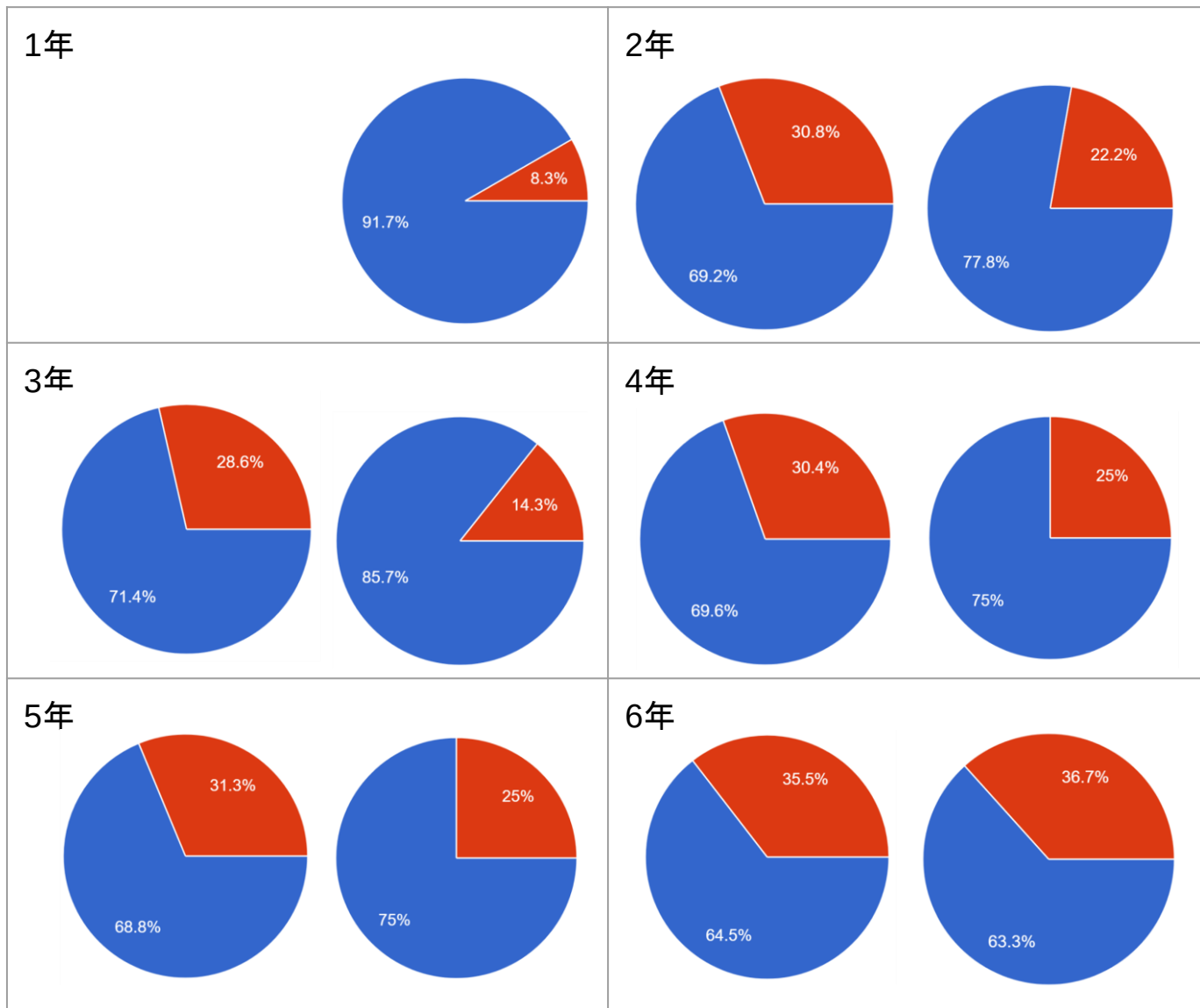


まとめ

- ・携帯・スマホの所持率は、学年を追うごとに増加傾向にある。
- ・課金やLINEなどによるネットトラブルが危惧される。
- ・児童が購入することはできないので、「持たせる必要があるのか」「正しい使い方を理解していて、正しく使うことができるのか」「約束はどうするのか」等、携帯・スマホの購入時における管理面については保護者の指導力を必要とするところが多い。学年だよりや生徒指導通信等で呼びかけていく必要がある。

8 持っている人は、親とルールを決めていますか。

- 1.きめている
- 2.きめていない



まとめ

- ・携帯やスマホを所持している児童で、ルールを決めていると回答した児童の割合は増えている。
- ・ルールの具体として「使って良い時間や場所、相手を決めている」といったものが多かった。高学年になるにつれ「勝手にアプリをダウンロードしない」といった約束をしている児童の割合が多くなっている。保護者が、ネットトラブルに巻き込まれないように我が子を心配していることが感じられた。
- ・今後も、学習用タブレットによる一人一台端末の使用とも関わって、学年に応じた情報モラルを身に付けられるよう指導していくとともに、保護者へも「子どもと、持たせる意味や約束を考えさせたり決めたりする」よう、協力を呼び掛けていきたい。